

令和6年中の事故統計資料

わかやまの水の事故



公益財団法人 和歌山県水上安全協会
和歌山県警察本部



公益財団法人和歌山県水上安全協会は、平成9年6月に設立されて以来、「安全で安心して楽しめる和歌山の海・川・池の実現」をめざし様々な事業を推進してまいりました。

その間、財政面でのお力添えを賜りました賛助会員様や市町村会員様方をはじめ、幅広いご支援とご協力をお寄せいただいた協会関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

昨年発生しました県内の水の事故につきましては、

件数 41件（前年比 - 11件）

死者 13人（前年比 - 10人）

傷者 10人（前年比 - 13人）

と、令和5年に比べ、発生件数、死者、傷者のすべてにおいて減少しました。

事故の特徴としては、すべてにおいて減少傾向にありますが、魚釣り中の事故の発生件数で21件（+8件）、死者6人（+1人）と増加し、また、マリレジャー中の事故については、発生件数が3件減少しましたが、死者3人（+3人）と増加しました。

こういう状況を踏まえ、本年はより一層警察、自治体、関係機関等の協力を得て、広報啓発活動や講習会、水難防止教室等の各種活動により、和歌山県下における水の事故防止に努めていく所存であります。

また、当協会では、海・川・池等でレジャーを楽しもうとされる方々が、それぞれの立場で安全についてお考えいただく際のご参考になればと、毎年、「わかやまの水の事故」という統計資料を作成し、お届けいたしております。

末尾には、安全で快適なレジャーをお楽しみいただくために、お守りいただきたい事柄を「ワンポイントアドバイス」として掲載しておりますので、ご活用いただければ幸いです。

当協会といたしましては、水の事故やトラブル等の防止に向けて、今後も懸命の努力を続けて参りますので、皆様方には、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年2月

公益財団法人和歌山県水上安全協会
理事長 向井 守 寿

目次

1	令和6年中の水の事故発生状況	1
2	令和6年中の水の事故概要	4
(1)	概要	4
(2)	発生状況の推移	5
3	事故の内容と特徴	6
(1)	場所別発生状況	6
(2)	行為別発生状況	7
(3)	原因別発生状況	8
(4)	年齢層別発生状況	9
(5)	月別発生状況	10
(6)	曜日別発生状況	11
(7)	死傷者の居住別発生状況	12
(8)	市町村別発生状況	13
4	主な事業活動の状況	14
5	ワンポイントアドバイス	15
6	津波に対する心得	16

※ 本資料中の数値等は、和歌山県警察本部の調べによるものです。

1

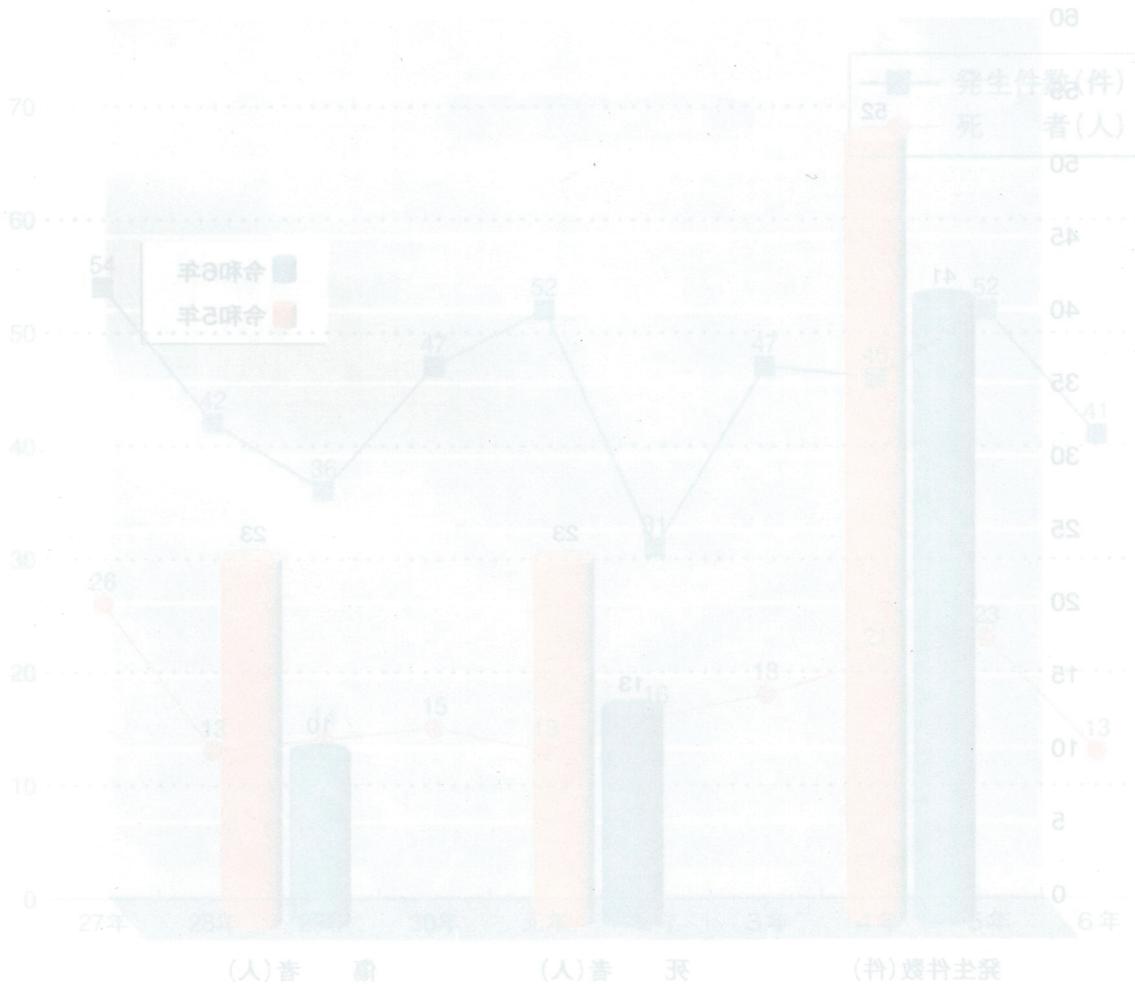
令和6年中の水の事故発生状況

No	署別	月	発生場所	事故内容	当事者関係		
					性別	年齢	
1	和西	1月	和歌山市 田野	海	魚釣り中、何らかの理由により海に転落した。	男	60代
2	白浜		白浜町	海	磯場で釣りの準備中、誤って海に転落した。	男	70代
3	田辺	2月	田辺市 新庄町	海	魚釣り中、誤って海に転落した。	男	10代
4	白浜	3月	すさみ町 見老津	海	魚釣り中、何らかの理由により海に転落した。	男	80代
5	有田湯浅	4月	湯浅町 栖原漁港	海	魚釣り中、足を滑らせて海に転落した。	男	40代
6	新宮		串本町 須江	海	魚釣り中、高波に飲まれ転落し、沖合まで流された。	男	20代
7	白浜		白浜町 才野	海	友人とイカ釣り中、足を滑らせて海に転落した。	男	40代
8	有田湯浅		湯浅町 大字田	海	釣り船に乗り釣り中、高波で船が浸水し沈没したが、二人とも自力で岸に上がった。	男 男	60代 60代
9	有田湯浅	5月	有田市 宮崎町	海	SUP（スタンドアップ・パドルボード）で遊戯中、波が強くなり二人とも沖合に流された。	男 男	10代 40代
10	和西		和歌山市 和歌浦南	海	波止での夜釣りを終え、歩いていたところ誤って海に転落した。	男	50代
11	田辺		田辺市 龍神村	川	魚釣り中、何らかの理由により溺れた。	男	60代
12	和東		和歌山市 直川	川	何らかの理由により川に転落した。	男	70代
13	有田湯浅		湯浅町 栖原漁港	海	2人乗りカヌーに乗り魚釣り中、同一方向に重心を傾けたためカヌーが横転し、2人とも海に転落した。	男 男	50代 50代
14	和西	6月	和歌山市 田野	海	魚捕り中、何らかの理由により溺れた。	男	20代
15	御坊		御坊市 名田野野島	海	プレジャーボートに乗って釣りをした後、帰港する途中横波を受け転覆し、海に投げ出された。	男	50代
16	和東	7月	和歌山市 広原	用水路	大雨による浸水を防ぐ作業中、用水路に転落した。	男	70代

17	白浜		すさみ町 見老津	海	貝捕り中、何らかの理由により溺れた。	男	80代
18	白浜		白浜町 日置	海	岩場で釣り中、落としたかごを取ろうとして溺れた。	男	40代
19	白浜		白浜町 日置	海	一緒に釣りに来ていた者を救助しようと、海に飛び込み自身が溺れた。	男	40代
20	田辺	7月	田辺市 目良	海	魚釣りの準備中、落とした釣り道具を回収するため海に入り、そのまま沖に流され溺れた。	男	50代
21	田辺		みなべ町 埴田	海	上級者ダイビング資格スクールの受講中、何らかの理由により意識不明になった。	女	50代
22	和西		和歌山市 毛見	海	2人でディンギー（小型）ヨットを操船中、何らかの理由によりヨットが転覆し海に投げ出された。	男 男	20代 20代
23	和北		和歌山市 磯の浦海水浴場	海	サーフィン中、他のサーファーと接触し波に飲まれた。	男	60代
24	新宮		新宮市 三輪崎海水浴場	海	友人らと遊泳中、浮き輪が外れ海に転落し溺れた。	男	10代
25	新宮		串本町 串本	海	スキューバダイビング中、何らかの理由により2人とも行方不明になった。	男 男	10代 50代
26	有田湯浅		有田川町 大字庄	川	2人で遊泳中、保護者が目を離した間に2人とも溺れた。	男 女	10代未満 10代未満
27	白浜		すさみ町 周参見	川	遊泳中、何らかの理由により流された。	男	10代未満
28	白浜	8月	すさみ町 周参見	川	川に飛び込んだ直後、持病による発作により溺れた。	女	10代
29	有田湯浅		有田川町 大字栗生	川	遊泳中、足のつかない深みで突然溺れた。	男	10代
30	御坊		日高川町 高津尾	川	友人らと遊泳中、1人で潜水をしているうちに川の中に沈んだ。	男	20代
31	和東		和歌山市 小倉	川	魚釣り中、何らかの理由により川に転落した。	男	80代
32	田辺		田辺市 天神崎	海	水上オートバイに乗って航行中、エンジントラブルにより航行不能となり漂流した。	男	40代
33	和北	9月	和歌山市 磯の浦	海	サーフィン中、波に飲まれて放り出され、サーフボードと接触した。	男	20代
34	和北		和歌山市 磯の浦	海	魚釣り中、落とした釣り道具を回収するため海に入り、波や強風により溺れた。	男	50代

35	和北		和歌山市 加太	海	友人らと魚釣り中、足下がよろつき海に転落した。	男	40代
36	和西	10月	和歌山市 湊	海	堤防付近で魚釣り中、何らかの理由によりテトラポットの隙間に転落した。	男	60代
37	御坊		由良町 網代	海	波止場を徒歩で移動中、地面の突起物につまづきテトラポットの上に転落した。	男	40代
38	御坊		御坊市 塩屋町南塩屋	海	ゴムボートに乗って海上で魚釣り後、大波を受けてボートが転覆し、海上へ投げ出された。	男	60代
39	和北	11月	和歌山市 加太	海	堤防で魚釣り中、何らかの理由により海に転落した。	男	40代
40	田辺		田辺市 天神崎	海	濡れた状態で、うつ伏せで倒れていた。	男	70代
41	海南	12月	海南市 下津町大崎	海	船に乗ろうとして、足を滑らせ海に転落した。	男	80代

水の中での発生状況
過去の発生状況



2

令和6年中の水の事故概要

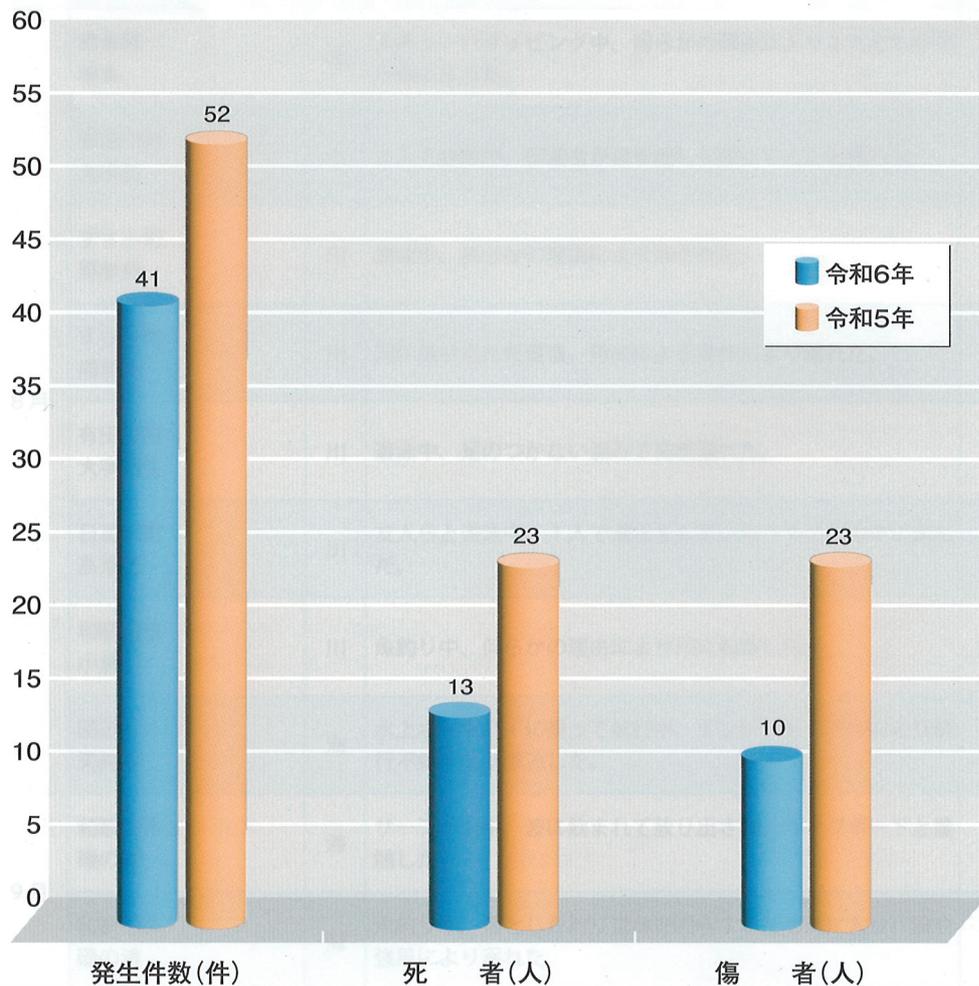
(1) 概要

令和6年中、和歌山県下で発生した水の事故は41件で、うち死者は13人、傷者は10人でした。前年比、発生件数で11件、死者10人、傷者13人とそれぞれ減少しました。

※ 発生状況(総括)

区分	年	令和6年	令和5年	増減数	対前年比(%)
発生件数(件)		41	52	-11	78.8
死者(人)		13	23	-10	56.5
傷者(人)		10	23	-13	43.5

水の事故発生状況



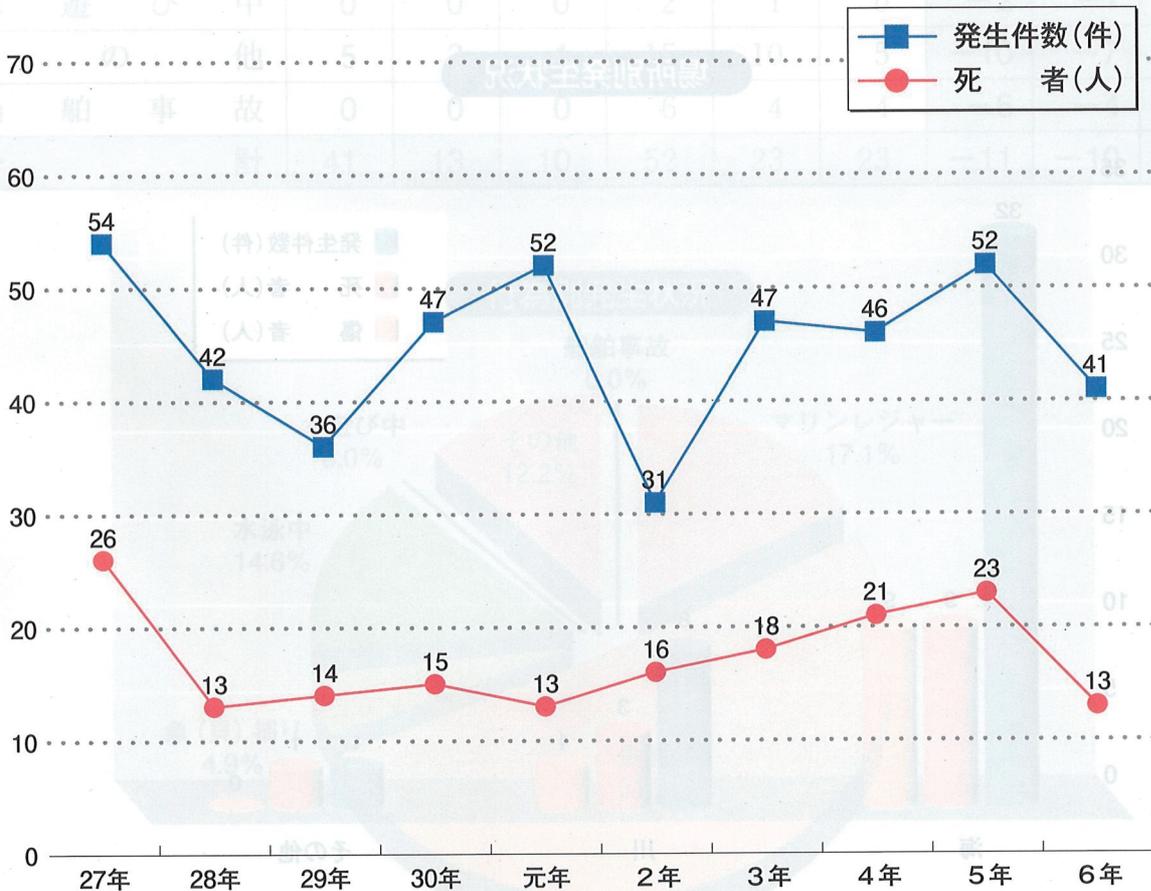
(2) 発生状況の推移 (平成27年～令和6年)

- 発生件数は41件で、過去10年間で3番目に少ない発生となりました。
- 死者数は、過去10年間で最も少ない平成28年、令和元年に並び、13人となりました。

発生状況の推移(平成27年～令和6年)

区分 \ 年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	過去10年間の合計
発生件数(件)	54	42	36	47	52	31	47	46	52	41	448
死者数(人)	26	13	14	15	13	16	18	21	23	13	172

過去の発生状況



3

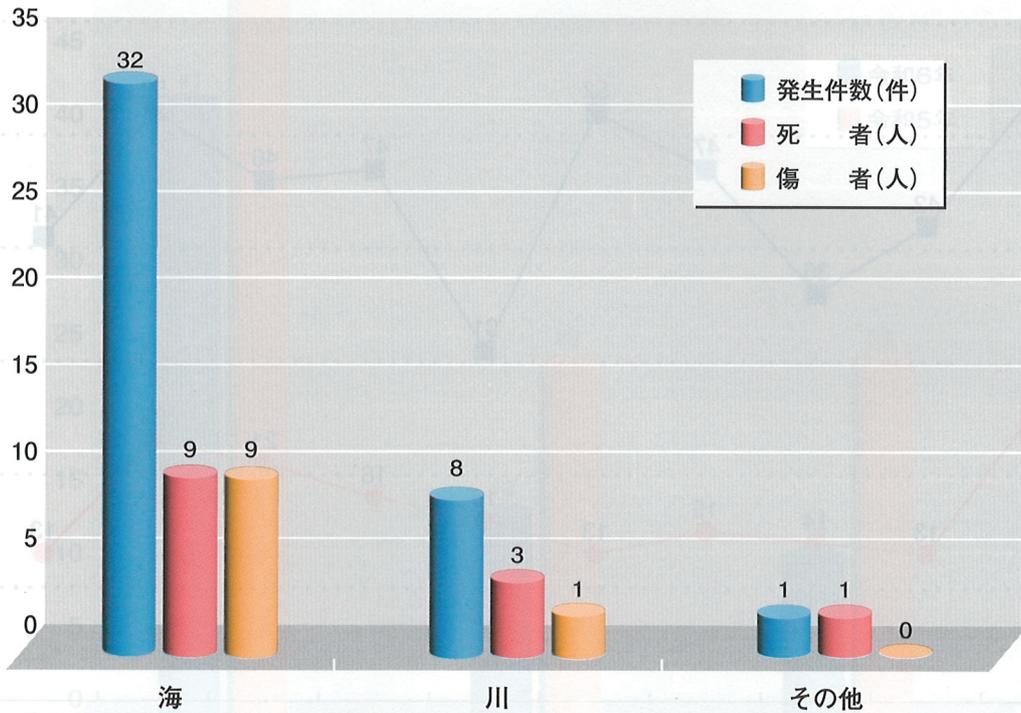
事故の内容と特徴

(1) 場所別発生状況

- 海での事故が32件で、前年比1件の増加となっています。
- 川での事故は8件で、前年比9件の減少となっています。
- 令和6年中は、用水路での事故が1件発生しました。

場所別	海	川	その他	計
発生件数(件)	32	8	1	41
構成率(%)	78.0	19.5	2.4	
死者(人)	9	3	1	13
構成率(%)	69.2	23.1	7.7	
傷者(人)	9	1	0	10
構成率(%)	90.0	10.0	0.0	

場所別発生状況



(2) 行為別発生状況

原因別発生状況 (E)

- 魚釣り中の事故は21件で、前年比8件増加し、死者は6人で1人増加しました。
- 死者数全体の約46%を占めています。
- マリンレジャー中の事故は7件で、前年比3件の減少となっています。

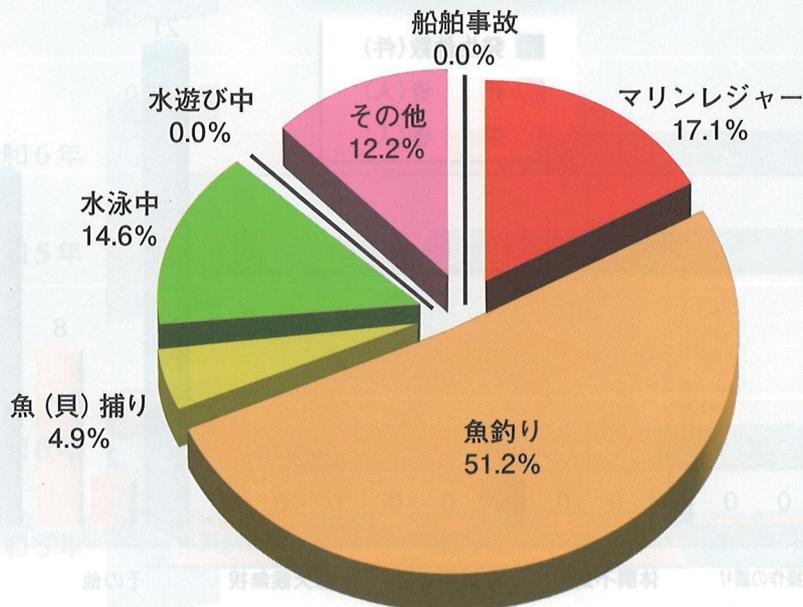
年齢層別

行為別

行為	年	令和6年			令和5年			増減数		
		発生(件)	死者(人)	傷者(人)	発生(件)	死者(人)	傷者(人)	発生(件)	死者(人)	傷者(人)
マリンレジャー	サーフィン	2	1	1	5	0	4	-3	1	-3
	水上オートバイ	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	スキューバダイビング	2	2	1	0	0	0	2	2	1
	その他	2	0	0	5	0	3	-3	0	-3
	小計	7	3	2	10	0	7	-3	3	-5
魚釣り		21	6	6	13	5	6	8	1	0
魚(貝)捕り		2	1	0	1	1	0	1	0	0
水泳中		6	0	1	5	2	1	1	-2	0
水遊び中		0	0	0	2	1	0	-2	-1	0
その他		5	3	1	15	10	5	-10	-7	-4
船舶事故		0	0	0	6	4	4	-6	-4	-4
合計		41	13	10	52	23	23	-11	-10	-13

事故者数

行為別発生状況



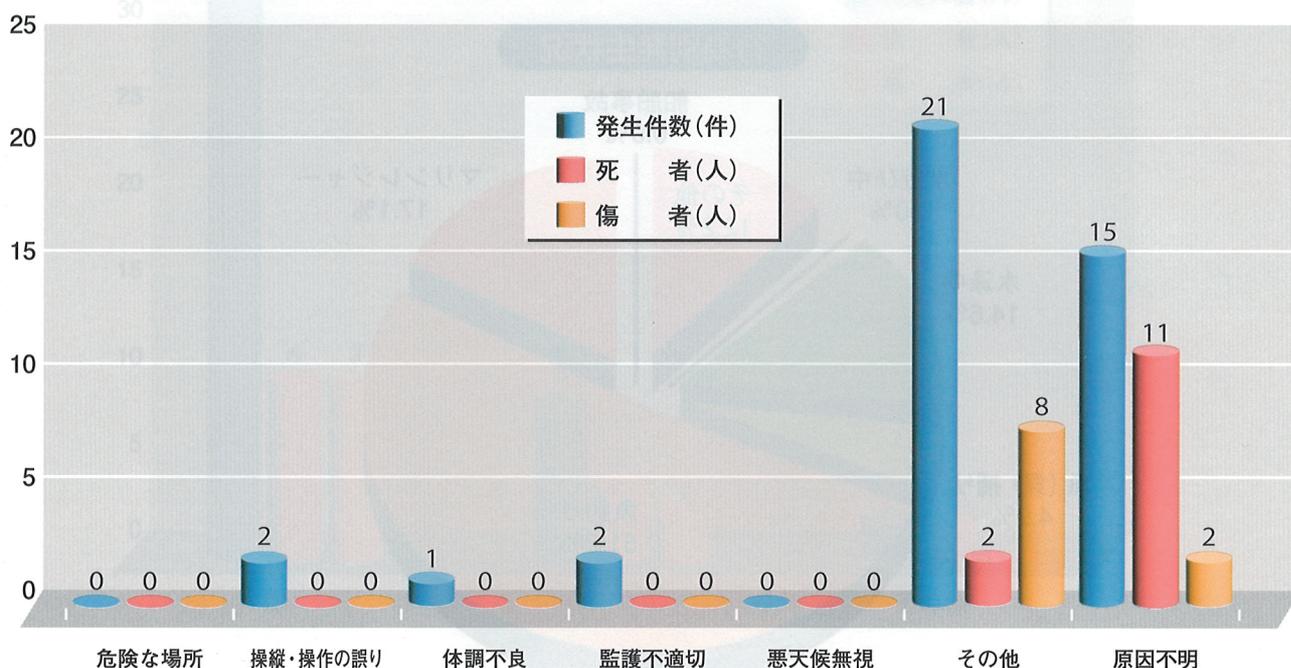
(3) 原因別発生状況

- その他及び原因不明の事故が全体の約88%を占めています。
- その他及び原因不明の事故は36件発生し、13人が死亡しています。

原因別

区分	原因	原因別発生状況							合計
		危険な場所	操縦・操作の誤り	体調不良	監護不適切	悪天候無視	その他	原因不明	
発生件数(件)		0	2	1	2	0	21	15	41
	構成率(%)	0.0	4.9	2.4	4.9	0.0	51.2	36.6	
死者(人)		0	0	0	0	0	2	11	13
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	84.6	
傷者(人)		0	0	0	0	0	8	2	10
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	

原因別発生状況



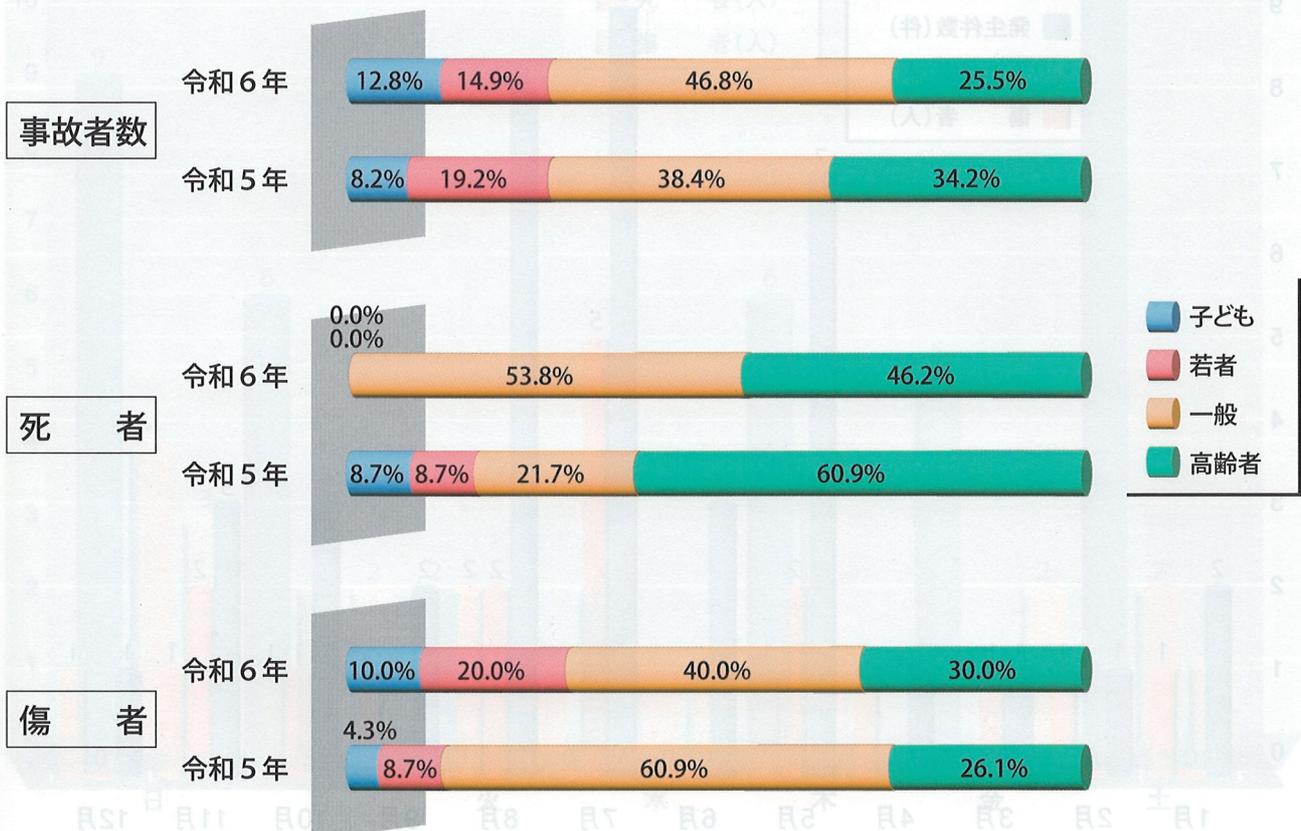
(4) 年齢層別発生状況

- 高齢者の事故は、前年比、事故者数で13人減少し、死者も8人減少しました。
- 子どもの事故は、傷者が1人で死者はありませんでした。

年齢層別

年	行為者	子ども (0~15歳)			若者 (16~24歳)		一 般 (25~64歳)	高 齢 者 (65歳~)	合 計
		幼 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他			
令和6年	事故者数	2	2	2	3	4	22	12	47
	死者(人)	0	0	0	0	0	7	6	13
	傷者(人)	0	0	1	1	1	4	3	10
	負傷等なし	2	2	1	2	3	11	3	24
令和5年	事故者数	2	3	1	0	14	28	25	73
	死者(人)	1	1	0	0	2	5	14	23
	傷者(人)	0	1	0	0	2	14	6	23
	負傷等なし	1	1	1	0	10	9	5	27
増減数	事故者数	0	-1	1	3	-10	-6	-13	-26
	死者(人)	-1	-1	0	0	-2	2	-8	-10
	傷者(人)	0	-1	1	1	-1	-10	-3	-13
	負傷等なし	1	1	0	2	-7	2	-2	-3

年齢層別発生状況



(5) 月別発生状況

発生件数(件) (A)

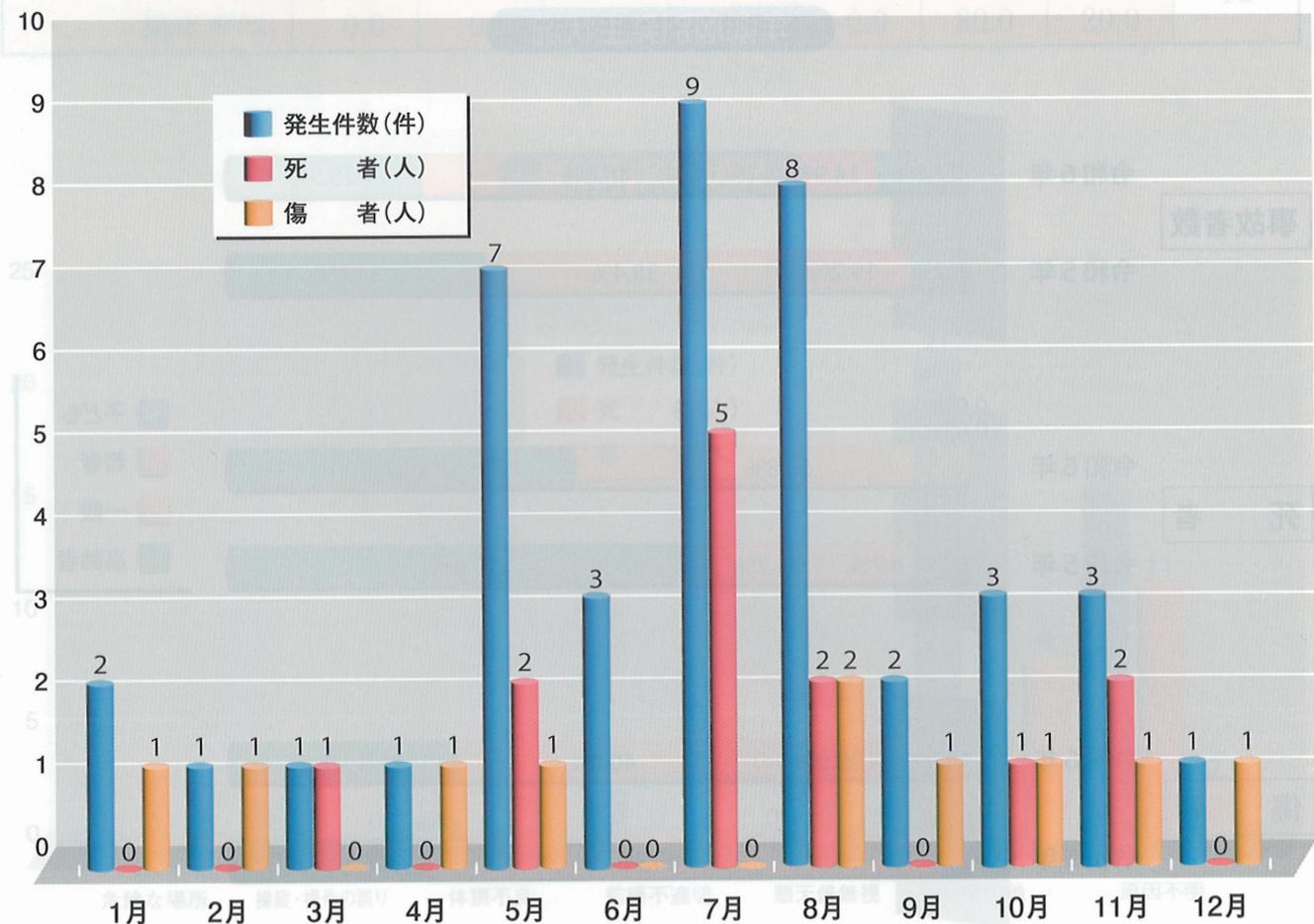
○ 夏季（7～8月）の発生件数は17件で、年間の41.4%を占めました。

○ 夏季の死者は7人、傷者は2人でした。

発生状況

月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
発生件数(件)	2	1	1	1	7	3	9	8	2	3	3	1	41
構成率(%)	4.9	2.4	2.4	2.4	17.1	7.3	22.0	19.5	4.9	7.3	7.3	2.4	
死者(人)	0	0	1	0	2	0	5	2	0	1	2	0	13
構成率(%)	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	38.5	15.4	0.0	7.7	15.4	0.0	
傷者(人)	1	1	0	1	1	0	0	2	1	1	1	1	10
構成率(%)	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	

月別発生状況



(6) 曜日別発生状況

県内発生件数の割合 (7)

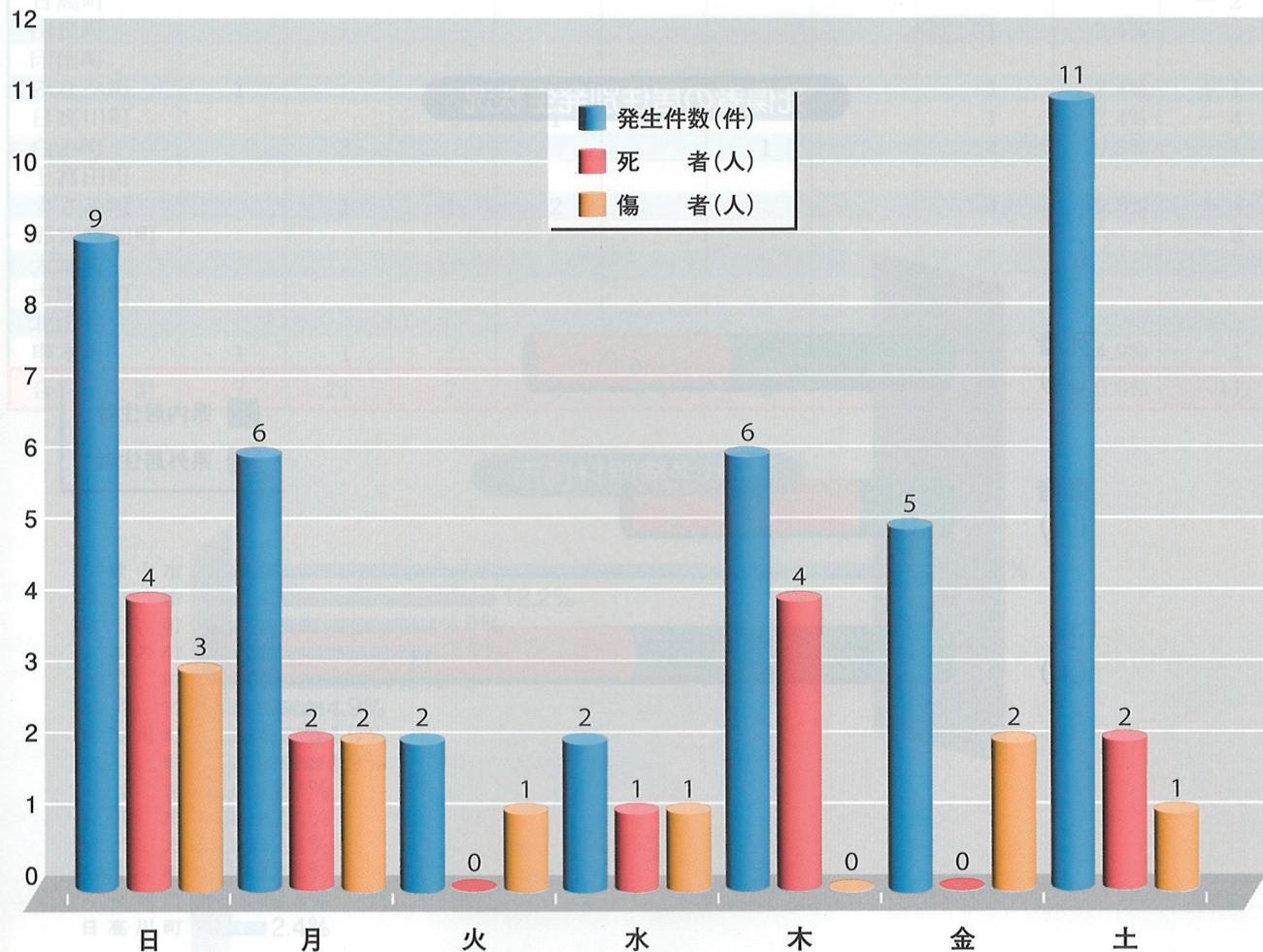
○ 曜日別では、事故の発生件数の内、48.8%が土曜日、日曜日に発生しています。

○ 県内発生件数の割合 (7)

曜日別

区分 \ 曜日	日	月	火	水	木	金	土	計
発生件数(件)	9	6	2	2	6	5	11	41
構成率(%)	22.0	14.6	4.9	4.9	14.6	12.2	26.8	
死者(人)	4	2	0	1	4	0	2	13
構成率(%)	30.8	15.4	0.0	7.7	30.8	0.0	15.4	
傷者(人)	3	2	1	1	0	2	1	10
構成率(%)	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	20.0	10.0	

曜日別発生状況



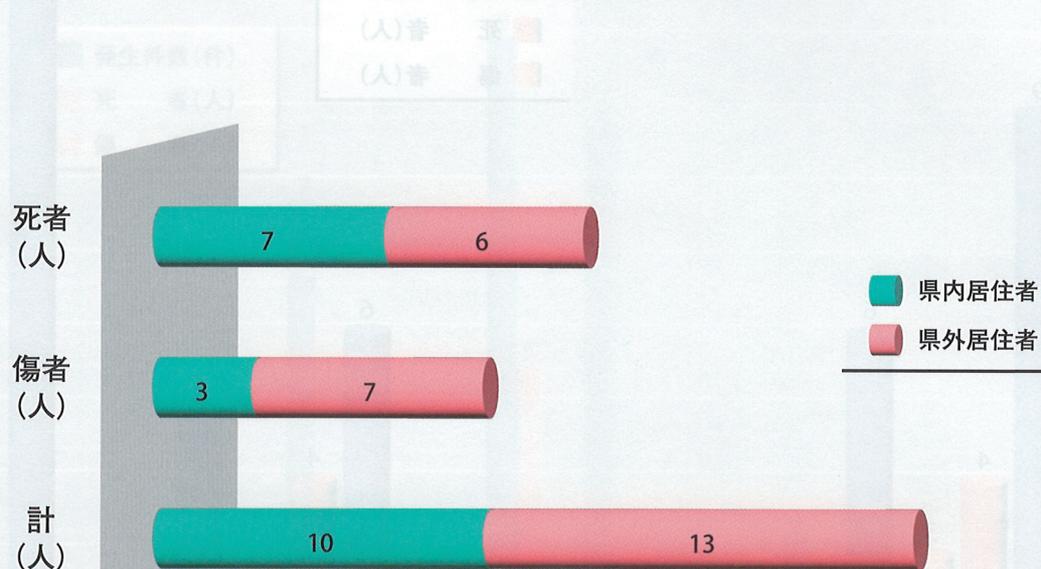
(7) 死傷者の居住別発生状況

- 死者は、前年比、県内居住者が6人減少し、県外居住者は4人減少しました。
- 傷者は、前年比、県内居住者が4人減少し、県外居住者は9人減少しました。

死傷者の居住別

区分 \ 居住	県内居住者	県外居住者	計
死者(人)	7	6	13
構成率(%)	53.8	46.2	
傷者(人)	3	7	10
構成率(%)	30.0	70.0	
計(人)	10	13	23
構成率(%)	43.5	56.5	

死傷者の居住別発生状況



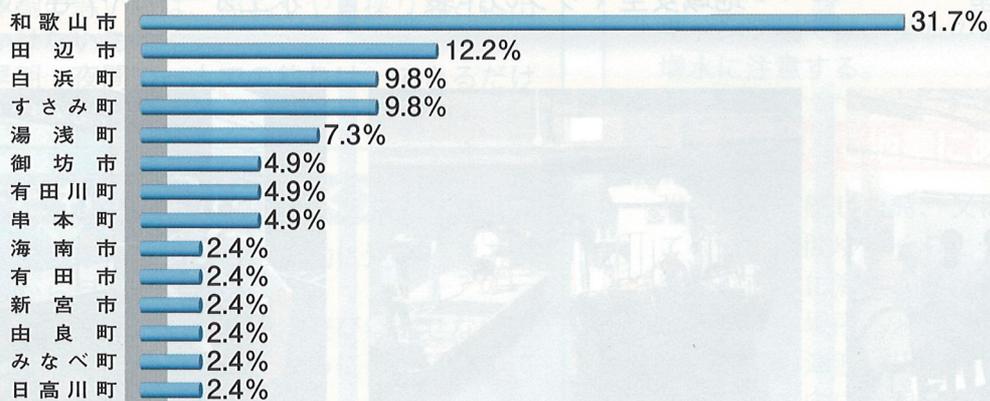
(8) 市町村別発生状況

- 和歌山市が13件の発生で、前年比で5件減少し、全体の31.7%を占めています。
- 田辺市が5件の発生となっています。

市町村別

発生 市町村名	行 為 別							発生件数 (件)	率 (%)	前年比
	レジャー	魚釣り	魚(貝)捕り	水泳中	水遊び	その他	船舶事故			
和歌山市	3	7	1			2		13	31.7%	-5
海南市						1		1	2.4%	+1
橋本市										
有田市	1							1	2.4%	-1
御坊市		2						2	4.9%	-1
田辺市	1	3				1		5	12.2%	+2
新宮市				1				1	2.4%	-2
紀の川市										
岩出市										-1
紀美野町										
かつらぎ町										
九度山町										
高野町										
湯浅町		3						3	7.3%	+1
広川町										-1
有田川町				2				2	4.9%	+2
美浜町										-1
日高町										-2
由良町		1						1	2.4%	
印南町										
みなべ町	1							1	2.4%	+1
日高川町				1				1	2.4%	-4
白浜町		3				1		4	9.8%	-1
上富田町										
すさみ町		1	1	2				4	9.8%	+4
那智勝浦町										-2
太地町										
古座川町										
北山村										
串本町	1	1						2	4.9%	-1
合 計	7	21	2	6	0	5	0	41	100.0%	-11

市町村別発生状況



4 主な事業活動の状況



のぼりによる啓発



開航式での啓発



海水浴場での啓発



津波避難訓練での啓発



釣り場での啓発



キャンプ場での啓発



水難防止教室



地域安全マップの作製



水上オートバイ等への啓発



乗船口での啓発



渡船場での啓発



事故現場調査

5 ワンポイントアドバイス

海・川・池でのレジャーを安全に楽しんでいただくために

共通事項

- ・必ず気象（海象）の状況を確認し、悪天候時には水に入らない。
- ・飲酒時や体調不良時には水に入らない。
- ・携帯電話等、万一の場合の連絡手段を確保する。
- ・事故が起きた時には、警察その他の関係機関に通報する。
- ・ルールとマナーを守る。

水上オートバイ・ボートでは

- ・速度や騒音等で遊泳者や付近住民に迷惑をかけないようにする。
- ・消音器等を改造しない。
- ・遊泳区域への乗り入れや異常接近など、遊泳者等に危険や迷惑を与えるような行為はしない。
- ・必ずライフジャケットを着用する。

ダイビングでは

- ・正しい海域の状況を知ってから行動する。
- ・ダイビングの基本を守る。
- ・必ずバディを組み、初心者に合わせて潜水計画をたてる。
- ・潜水は最良の体調で行う。無理をしない。
- ・器具の事前点検を確実にし、潜水旗を忘れずに掲出する。

高齢者の事故を防ぐためには

- ・転落のおそれなどのある危険な場所での釣りは、控えること。
- ・体調の悪い時は、魚釣りや貝採りなどに出かけないこと。
- ・早朝・夜間の一人での釣りは、できるだけ控えること。

子どもの事故を防ぐためには

- ・保護者は常に子どもの行動に注意し、子どもから目を離さない。
- ・子どもだけでの水泳や水遊びはさせない。
- ・家庭・学校・現場で子どもに事故についての指導を徹底しておく。

釣りでは

- ・釣り場所の選定時には、安全面にも十分配慮する。
- ・一人での釣りは控え、高波・転落等にも十分注意する。
- ・必ずライフジャケットを着用する。

サーフィンでは

- ・波の有無にかかわらずリーシュコードは必ず付ける。
- ・夏季期間中、一般遊泳場には絶対に入らない。
- ・過信したライディングはしない。
- ・前乗り（ドロップイン）はしない。

遊泳・水遊びなどでは

- ・自然を甘く見ず、場所選びは慎重にする。
- ・海では突然の高波に注意する。
- ・川は流れが速く、思わぬ深みもあるので十分に注意する。
- ・キャンプ場では、ダムの放水や大雨による増水に注意する。

海岸・川べりで地震にあった場合には

- ・強い地震を感じた時、又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時は、直ちに海浜から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難する。
- ・川べりで津波は川を遡るので、流れに対して直角方向に素早く避難する。

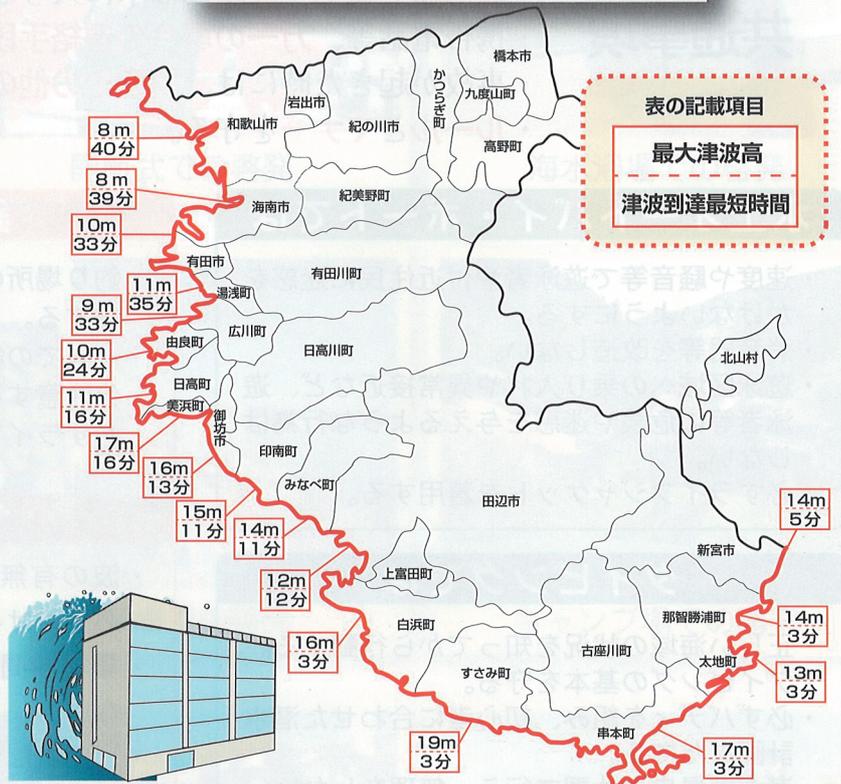
6

津波に対する心得

地震が来たらすぐ避難 津波が来る!!



南海トラフの巨大地震による 最大津波高・津波到達最短時間



約19mの津波はビル約7階分に相当します。

(平成25年3月和歌山県発表から)

津波に対する心得

1 津波避難三原則を身に付けましょう！

(群馬大学大学院 片田敏孝教授 提唱)

想定にとられるな！

予想以上の津波が襲ってくる可能性があります。「ここまで津波はこない」ではなく、想定にとられずに避難しましょう。

最善を尽くせ！

そのときできる最善を尽くして、妥協せず、より高くより早く避難しましょう。

率先避難者たれ！

率先して避難する姿を見て、他の人も避難するようになります。多くの人の命を守るため、まず自分が率先して避難しましょう。

2 平素から地域で行われている避難訓練や防災講習会に参加しましょう！

3 いざという時の避難先や連絡方法について家族と話し合っておきましょう！

(提供：和歌山県警察本部)

和歌山県遊泳者等の事故防止に関する条例（抜粋）

遊泳者のみなさんへ

遊泳者のみなさんも他の人に危険な行為や迷惑をかけないようにしましょう。条例では次のことが禁止され、警察官の中止指示に従わなかった場合は罰せられます。

- 1 海水浴場での、危険な器具の携帯の禁止（第9条）
- 2 多数の人が遊泳する海域等における危険行為の禁止（第16条）

水上オートバイ利用のみなさんへ

危険行為、迷惑行為はやめましょう。（第15、17条）

海や川において、みだりに水上オートバイを疾走させ、急転回させる等により、遊泳者、潜水者、釣人、漁業に従事している人等に、「危険を生じさせる行為」は条例で禁止されています。

また、騒音等による迷惑をかけないようにしましょう。

プレジャーボート操船者の遵守事項（第18条）

- 1 出航前に、気象状況等を確認する。
- 2 飲酒、病気等のために正常な操縦ができないおそれのある状態で操船しない。
- 3 漁業施設等がある場所や遊泳者等がいる場合は、減速し、または、接近しない等の安全な方法で航行する。
- 4 遊漁者を磯等に渡す場合には、気象や海象、磯等の地形を把握するとともに、遊漁者の動向に応じた操船をする。
- 5 水上スキー等をけん引する場合は、その者に救命胴衣を着用させるとともに、見張り要員を配置する。
- 6 水難事故を起こしたときは、直ちに負傷者を救助する等の措置をとり、警察官に通報する。

編集・発行

公益財団法人 **和歌山県水上安全協会**

☎640-8313 和歌山市西1番地 交通センター内

☎ 073-473-2579

HP <https://suiankyo.com>

監 修

和歌山県警察本部地域指導課